

Fri

鋼管・建材・線材・二次製

Steel pipe Building materials Wire rod Secondly and tertiarily prod

木造住宅の湿式外壁用 「水切り」腐食対策 技術セミナー展開

ハウゼンエー

住宅用換気棟・屋根役物・壁役物メーカーのハウゼンエー(本社大阪府大阪市中央区、神戸陸史社長)は、木造住宅の湿式外壁用土台水切りの腐食事例や研究成果を解説する「ハウゼンエー技術セミナー」を1月から開始した。参加費用は無料。これまで全国6会場でセミナーを開催し、住宅の設計や建築、素材に関わる技術者を中心に高い評価を得ている。

湿式外壁では、2001年の住宅金融公庫(現住宅金融支援機構)の仕様書改定を受け、土台部に水切りの施工が実質的に義務付けられている。しかし、標準施工が確立

研究成果に高評価

東西で
来月開催

されておらず、間違った施工により住宅の耐久性を低下させる原因の一つになっている。同社では「hauserco(ハウゼンエー)ブランドで水切り、換気棟などの商品を生産・販売している。13年10月には関連団体・企業による共同実験を含め、さまざまな研究や実証実験を進めてきた成果として、業界初の「モルタル専用水切り」をメタルラスメーカーの山中製作所(本社堺市堺区、山中豊茂社長)と共同開発した。

バルコニーについても水切りの腐食とモルタル専用水切りについて②笠木通気層に雨水が吹き込むことにより、雨もれにつながる劣化事例が引き起こされている現状から、住宅金融支援機構や住宅会社などの部位の「納まり」を調査。送風散水試験を行い、漏水量を明らかにした。

こうした成果をもとに「木造住宅の建物外皮の劣化事例と解決策」をテーマに、初めての技術セミナー開催を企画し、1月から各地で実施している。内容は①土台

水切りの腐食とモルタル専用水切りについて②笠木通気層に雨水が吹き込むことにより、雨もれにつながる劣化事例が引き起こされている現状から、住宅金融支援機構や住宅会社などの部位の「納まり」を調査。送風散水試験を行い、漏水量を明らかにした。

セミナーは全9回を予定しており、今後は東京と大阪の計3回開催する。問い合わせは同社ホームページまたはセミナー事務局(☎06-4963-8266)まで。日程は次の通り。

▽東京 3月6日(ホテルサンルート有明) 3月20日(TKP品川カンファレンスセンター)

▽大阪 3月18日(TKP大阪梅田ビジネスセンター)

磨棒鋼、冷間圧造用(CH)鋼線を製造する林精鋼(本社東京都大田区、林幹也社長)は、海外での事業展開を目指し、中国子会社で連続抽伸機による操業を開始したほか、中期的に東南アジアでの現地事務所開設も目指す。同社が主に製造する磨棒鋼は、主要な向け先である自動車関連需要の海外流出が進ん

でおり、海外に強い人材を育成し、グローバル化に対応する。中国・蘇州の岡谷鋼機との合弁会社、林精鋼(蘇州)金属製造は、建機部品向けの切削加工会社として、山形精密加工工場の一部事業を受け、安価な現地材が台頭している。林社長は「環境下、出荷は伸び悩んでいる。新たな需

要を開拓するため、昨年10月に連続抽伸機を設置し、操業を開始した。現時点で数量はまとまっていなかったものの、ローカルスタッフ2人を採用し、将来的な現場責任者として育成する方針。国内工場から教育係として熟練工1人を派遣して、技能を磨かせている。

また、自動車関連需要の成長が続くとみら

る。グロバル人材の育成に向け、近年は機会を見つけて積極的に海外出張するよう社員に促すなどしている。

鋼線は2・6%減の3

る。グロバル人材の育成に向け、近年は機会を見つけて積極的に海外出張するよう社員に促すなどしている。

鋼線は2・6%減の3

る。グロバル人材の育成に向け、近年は機会を見つけて積極的に海外出張するよう社員に促すなどしている。

鋼線は2・6%減の3

る。グロバル人材の育成に向け、近年は機会を見つけて積極的に海外出張するよう社員に促すなどしている。

鋼線は2・6%減の3

コラム 9万5000円目指す

関西流通 売値引上げに全力

関西地区のコラム扱サイス)どこを目標に掲げ、売値引き上げに全力を注いでいる。業者間の販売競争の激化により、安値対応が相次ぎ、コラム市況は伸び悩み状況が続い

東 西 産 業 新 聞